

←左余白25ミリ

↑ 上(下)余白30ミリ

右余白25ミリ→

小学校理科教材の検討

題名は16ポイント、ゴシック

アブラナ科の花のつくりの観察について

副題と英文は14ポイント

The Observation of Floral Structure on Brassicaceae in Elementary School Time New Roman

○北海太郎¹、浜梨カオル²、丹頂麻衣³ 10.5ポイント、明朝

HOKKAI Taro, HAMANSU Kaoru, TANSHO Mai 10.5ポイント、明朝

¹北海大学, ²稚内市立岬小学校, ³釧路町立芦原小学校 10.5ポイント、明朝

【キーワード】 小学校理科, 教材開発, 花のつくり (3~5語)

標題と本文は1行開けて下さい。本文は、2段組、余白を上下30ミリ、左右25ミリとして下さい。

1 目的 10.5ポイント、太字ゴシック

小学校における生物学習は、・・・。

(本文は10.5ポイントとして、1行当たりの語数と行数は著者で決めて下さい。)

田中(2006)は・・・と述べている。



図1 実験中の様子 9ポイント、ゴシック

2 方法

(1) 教材研究

教材研究を行った。授業時間数は表1に示す。

表1 教科の時間数 9ポイント、ゴシック

1) アブラナの花のつくり

アブラナの花のつくりを模式的に表すと次のようになる。

①めしべ

めしべのつくりをここに示す。

②おしべ

.....。

2) ダイコンの花のつくり

(2) 実験方法

実験の過程は.....。

3 結果

まず、.....。

.....
.....
.....
.....
.....
.....

児童はアブラナやダイコンの花の観察から.....。この実験中の様子を図1に示す。

↓ 下余白30ミリ

これらの結果より、.....であった。

4 考察

これからの理科教育において、実験観察という事実を通して仮説を導出し、その後適用をしながら概念を獲得するようにしていくと.....。

北海大学附属中学校(2006)は、.....と述べている。

.....
.....
.....
.....
.....

5 まとめ

本研究では.....が明らかになった。

引用文献

北海大学附属中学校(2006)「身近な生物を題材とした理科授業の在り方について」『北海大学紀要』第1巻、第2号、24-46。

田中一郎(2006)『これからの生物教育』石狩出版

A→Zの順で記載してください。記載方法の詳細は本学会の論文誌『理科教育学研究』の投稿規程を参考にしてください。